

## 運営委員会だより

## 運営委員 針谷 正紀

◆週 1~2 回の練習、月 2 回の大会出場、年 11 回の主催大会準備・運営・試合参加…と卓球を中心とする退職後の生活リズムに狂いが生じたのがこの 4 月の 75 歳誕生日前後だった。体の上半身の関節・筋肉に痛みが走りラケットを握るのが困難になってしまい、5 月と 7 月の二つの大会に棄権せざるを得なくなった。43 年以上に及ぶベテラン(30 歳以上の)卓球生活で初めての経験だった。

そんな苦しみの中の生活の中での 1 ヶ月直近の私の出来事を時系列で振り返ってみたい。

◆7 月 17 日に高退教の赤石竹夫さんの呼びかけで開催された岩波書店発行の「世界」を読む会に参加した。あらかじめ指定されていた「対談 米朝核交渉と日本外交 田中均・太田昌克」「米朝首脳会談―何がはじまらなければならないか―和田春樹」を事前に読んで参加し、その感想を 7 名の参加者全員で語り合うというものだった。米朝会談を否定的に報じていた大手メディアとは異なる対談・論文はとても新鮮で刺激的だった。

◆7 月 15 日に子ども食堂ネットワークぐんま設立大会に参加した。湯浅誠法政大学教授の記念講演が目当てだ。我がフォーラムも子どもの貧困問題に関するシンポや集会を企画してきたので今回の設立大会には注目した。群馬県内でもこども食堂の取り組みはこの 2 年間で 40 カ所以上に拡大している。湯浅講演の中で、多くの困難を抱えた子どもたちが

「黄信号」の状態から「赤信号」に落ち込む前にさまざまな手立てを講じていくことの一つの有効な実践が「子ども食堂」の取り組みであるとの指摘が印象に残った。

◆7 月 14 日に第 100 回教育ネットぐんまの定例会議に参加した。ここ何回かの県労会議の吉崎照二見さんの労働相談の報告に注目している。今回はイスラム系外国人経営者に雇用された外国人労働者の解雇問題が話題になった。県労会議の労働相談は頼りになるという評価が口コミで拡がり困難に直面している各種派遣労働者等が次々に相談に訪れている。吉崎さんは彼らに寄り添い積極的に団体交渉に臨んで解決に導いている。貴重な実践だ。

◆6 月 17 日に映画「万引き家族」を鑑賞した。日本の貧困の現実をこれだけ鋭く深くえぐり私たちに重い課題を突きつけた是枝監督の演出は見事だった。安倍政権にとってはおもしろくない映画であり国際的な賞を受賞しながら祝福のコメントを発することが出来ないのは宜なるかなと思った次第である。

◆運営委員会は脊柱管狭窄症に苦しむ倉林委員長が会議に出られず編集もできない状況が続いている。常連メンバーが猛暑にも負けずに頑張っていて、なんとか今回のニュース『育ちと学び』の完成にこぎつけた。会員の皆様のご感想・ご意見をぜひ寄せていただきたい。

## 今後の主な予定

8 月 17 日 (金) ~19 日 (日)	全国「教育のつどい」(長野市)
8 月 24 日 (金) ~9 月 1 日 (土)	「小さな夏のパステル画展 2018」(高崎市貝沢町、リボルノ)
8 月 31 日 (金) 14 時 30 分~	原発と自然エネルギー研究部会 (フォーラム)
9 月 7 日 (金)、21 日 (金) 13 時~	スダジイ楽書会 (フォーラム)
9 月 22 日 (土)	近現代史ゼミ (フィールドワーク)

育ちと学び No. 37

ぐんま教育文化フォーラム

2018 年 7 月 27 日 発行

〒371-0026 前橋市大手町 3-1-10 群馬県教育会館 3F

[TEL・FAX] 027-235-8876 [IP 電話] 050-3419-3803

[E-mail] g-kyoken@nifty.com

[URL] <http://gkb-forum.sakura.ne.jp>

